

講義コード	221007C
講義科目名称	歴史学【診療】
英文科目名称	History
講義期間	後期
学科	適用 - 診療放射線学科(2025)
配当年	1
単位数	2
科目必選区分	選択
授業形態	講義
担当教員	天野 修司
曜日・時限	後期 水曜日 5時限 511教室
関連するディプロマポリシー	DP DP

授業概要	歴史学とは、実存する文献や遺物などの史料に基づいて、過去に起こった出来事を研究する学問である。本講義では、最新の研究によって明らかとなった世界の歴史を理解するとともに、実際の史料に基づいて、歴史的事実を解釈する方法を習得する。
学修の到達目標	歴史的な出来事の背景に何があるのかを理解し、正しい思考力と判断力を身につけることが目標である。
予習・復習の内容およびそれに必要な時間	復習：ノートに書いた内容を知識として定着させて、小テストに備える（45-60分）。 中間レポートと最終レポートの作成に向けて、ネットや書籍を使って、調べ学習を行う（30分）。
成績評価の方法・基準	小テスト（3回）60%、中間レポート20%、最終レポート20%
試験・レポート等に対するフィードバックの方法	小テストおよび中間レポートについては、授業のなかで、フィードバックを行う。最終レポートについては、NIMSポータルでフィードバックを行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	『永遠平和のために（仮題）』	天野修司	未定	2026年	TBD
2.					
3.					

#### 参考図書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	『地政学だけではわからないシ	天野修司	イースト・プレス	2022	978-4781621036
2.					
3.					

教員からのメッセージ	「温故知新」という言葉がある。その言葉のように、過去に起きた出来事から、新たな知識を習得して、未来について考えよう。		
当該科目に関連する職歴と科目への活かし方	実務経験の有無：		
その他			
参考URL	表示名：		
	URL：		
授業方式	オンライン授業	対面授業	併用
		○	

	回数	テーマ	内容
授業計画	1	歴史学とはどんな学問か	歴史学の全体像と意義を考察する。
	2	中世ヨーロッパの歴史(1)	中世ヨーロッパの歴史について説明できる。
	3	中世ヨーロッパの歴史(2)	史料に基づいて、中世ヨーロッパの歴史的事実を解釈する方法を習得する。
	4	近代ヨーロッパの歴史(1)	近代ヨーロッパの歴史について説明できる。
	5	近代ヨーロッパの歴史(2)	史料に基づいて、近代ヨーロッパの歴史的事実を解釈する方法を習得する。
	6	イマヌエル・カント『永遠平和のために』(1)	イマヌエル・カントの『永遠平和のために』を読んで、近代ヨーロッパの当時の状況について理解を深める。
	7	イマヌエル・カント『永遠平和のために』(2)	イマヌエル・カント『永遠平和のために』の論理に基づいて、現在あるいは未来の世界が、どのように変化しうるのかを分析する。
	8	中間レポート(1)	中間レポートの作成を通じて、ヨーロッパの歴史について理解を深める。
	9	中間レポート(2)	中間レポートの作成を通じて、ヨーロッパの歴史について理解を深める。
	10	20世紀の世界(1)	20世紀の世界の歴史について説明できる。
	11	20世紀の世界(2)	史料に基づいて、20世紀の世界の歴史的事実を解釈する方法を習得する。
	12	現在の世界(1)	世界の現状について説明できる。
	13	現在の世界(2)	史料に基づいて、現在の世界の歴史的事実を解釈する方法を習得する。
	14	最終レポート(1)	最終レポートの作成を通じて、世界の歴史について理解を深める。
	15	最終レポート(2)	最終レポートの作成を通じて、世界の歴史について理解を深める。

授業計画	回数	テーマ	内容
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			